

漁海況情報

平成 26 年 7 月 4 日 第 9 号 (通巻 546 号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎 2861-3

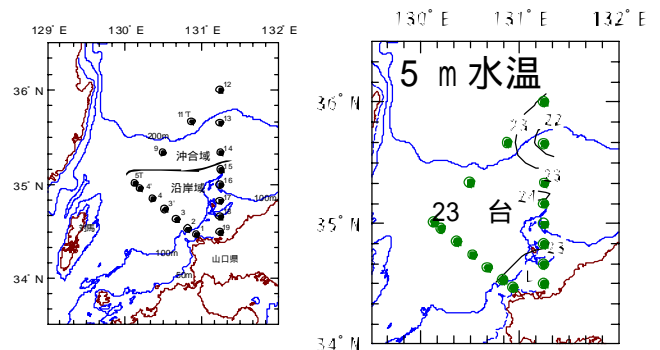
TEL : 0837-26-0711 FAX : 0837-26-1042 Mail : a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

【海鳴りネットワーク】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

【くろしおによる海洋観測】

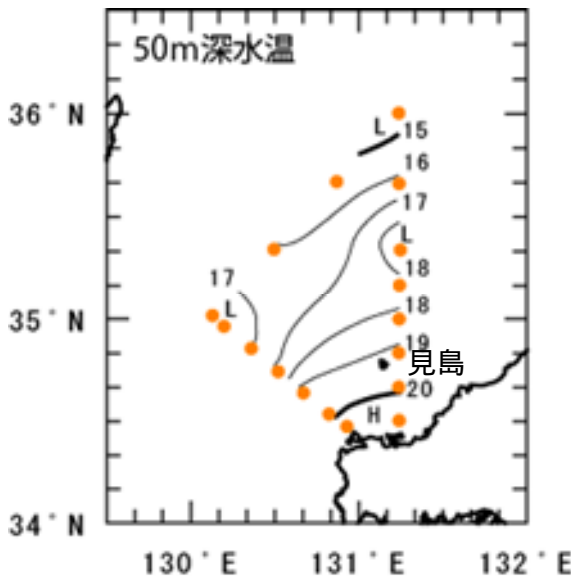
7月1日～2日に漁業調査船「くろしお」で海洋観測を実施しました。

今月は、表層水温が高めであった(広い海域で23台;右図)ことが特徴です。一方50m,100mの水温は、先月よりも冷水の勢力がやや弱まったため、沖合域で「平年並み」、沿岸域も「平年並み」でした。ここで平年とは30年間(1981～2010年)の平均値ことです。



海洋観測点

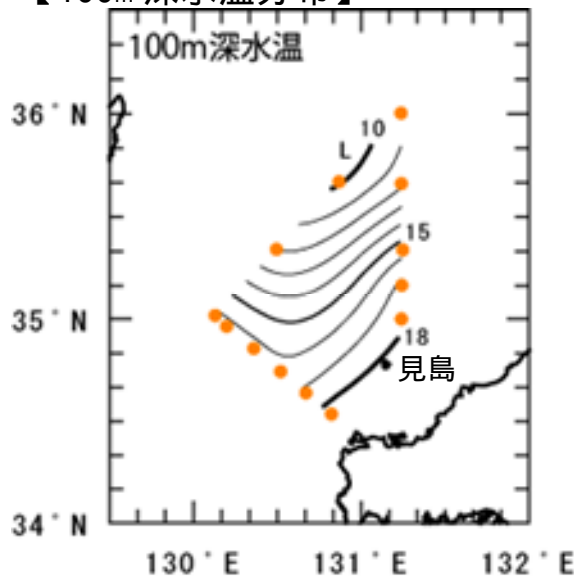
【50m 深水温分布】



沿岸域は、前月より約 1～2 昇温し 16～20 台で「平年並み」でした。見島周辺では 18～19 台(前月よりも+1～2)でした。

沖合域は 14～16 台で「平年並み」でした。

【100m 深水温分布】



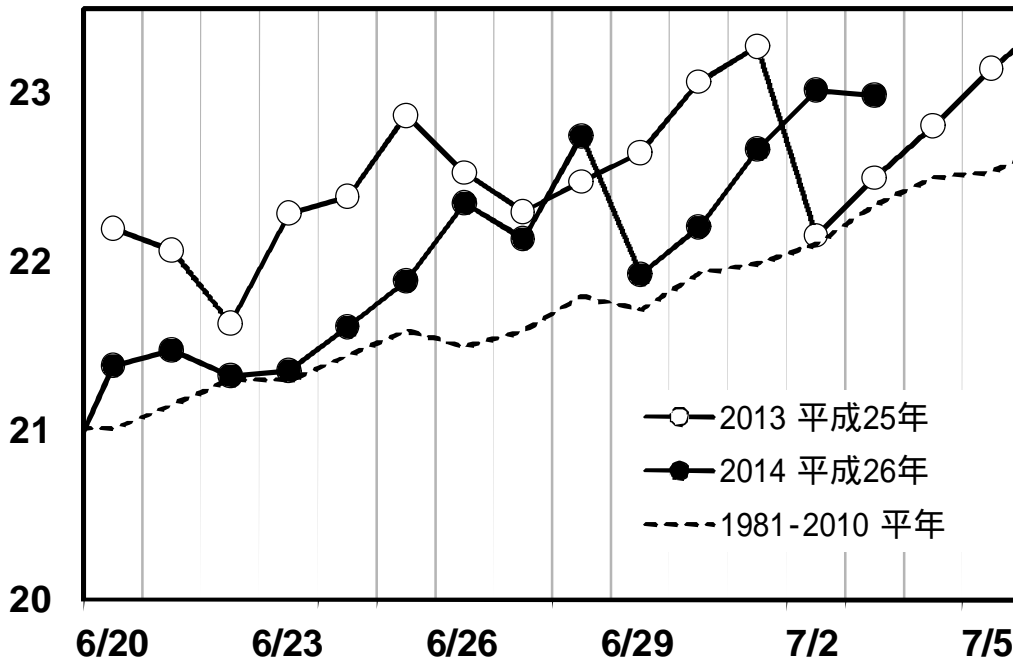
沿岸域は、16～18 台で「平年並み」でした。見島周辺では 17～18 台でした。

冷水域の勢力は、先月よりもやや弱まり、沖合域では 9～15 台で「平年並み」でした。

【萩-見島フェリー観測の表層水温】

萩沖の表層水温は昇温しており、6月25日以降 平年よりも高め（+0.3～1.0）で推移しています。7月3日の値は23.0 で、平年より0.7高め（前年より0.5 高め）となっています。

()



【他県の漁況情報】

・長崎県

- 6/19～25の漁模様 -

< 中小型まき網 >

西彼地区 マアジなどを1日1統当り12トンの水揚げで、前週の1.7倍（前年を上回った）。

北松南部地区 ウルメイワシなどを1日1統当り8トンの水揚げで、前週並み（前年並み）であった。

< イカ釣り >

対馬東岸地区 ケンサキイカを1日1統当り91kgの水揚げで、前週の2.7倍であった（前年を上回った）。

壱岐勝本地区 ケンサキイカを1日当り1トンの水揚げで、前週の2.4倍（前年を下回った）であった。

* 長崎県漁海況週報第2847号から抜粋